

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3790300044
法人名	医療法人社団まえた整形外科外科医院
事業所名	グループホームパンジー
所在地	香川県坂出市京町3丁目6番56号 (電話)0877-59-0503

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成21年1月24日	評価決定日	平成21年2月27日

## 【情報提供票より】(20年12月1日事業所記入)

### (1)組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年6月8日				
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人		
職員数	15人	常勤	14人, 非常勤	1人, 常勤換算	7.8人

### (2)建物概要

建物構造	鉄骨造り
	5階建ての1階~2階部分

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000円	その他の経費(月額)	実費	
敷金	有( )円	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	326円	昼食	441円
	夕食	651円	おやつ	0円
	または1日当たり 円			

### (4)利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	6名	要介護2	5名		
要介護3	3名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 86.3歳	最低	73歳	最高	97歳

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	まえた整形外科外科医院、佐藤医院、つぎき内科クリニック、いわた歯科クリニック
---------	--

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

商店街や駅に近く、生活の利便性がある場所に位置し、介護複合施設として運営されています。近隣の方々の出入りが多いため、日常的に触れ合いができています。また、ホームの横には家庭菜園を設けており、入居者の方が住み慣れた地域での生活が送れる環境です。事業所では、「その人らしい生活」を大切にしたい運営理念を設けており、管理者および職員一同が共有しています。職員は利用者一人ひとりの個性を尊重し、本人の生活リズムやペースを大切に、共に暮らす関係を心がけています。その結果、利用者の表情が自然であり、安心して過ごしています。また、法人および複合施設が一体となり、認知症高齢者ケアに対して積極的に取り組む姿勢がうかがえます。

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価では、地域との連携を深める取り組みが改善課題があったが、管理者および職員が課題を共有し、独自の散歩マップの作成を行っています。また、職員全員による記録の書き方を統一する取り組みを行っています。指摘を受けた改善課題に対して具体的に改善するなど意欲的に取り組む姿勢がうかがえます。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者および職員全員が自己評価についての学習をするなど前向きに取り組んでいます。今後、改善が必要な項目についても検討していこうとする意欲がうかがえます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、ほぼ2か月ごとに開催しており、ホームの説明や状況の報告、意見交換が行われています。また、地元自治会長と災害時協力を働きかける取り組みを行うなど、会議で討議された内容をサービスの質向上に活かしています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	毎月、「お手紙」でご家族に入居者の暮らしぶりや健康状態を報告すると共に、面会時にも入居者の暮らしぶりや健康状態を伝え、ご家族からのご意見・ご要望を聞いています。また、「苦情箱」などの設置等の体制を確保すると共に、日頃からご家族のご意見やご要望を言いやすい雰囲気づくりに努めています。今後、家族会などを定期的に開催し、家族などが気軽に交流できる機会を設ける取り組みを期待します。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	介護複合施設のため、日常的に人の出入りが多く、賑やかな状況であり、近隣の方々との触れ合いはできています。また、事業所の花見、夏祭りなどの様々な行事を通して近所の方々と交流をしています。関係者への働きかけは、運営推進会議などの場で行っており、地域活動などへの参加や交流の呼びかけをしています。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づき医療法人社団まえた整形外科医院</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人としての理念に加え、「入居者の尊厳の保持、信頼関係、生きがいのある生活など」を目指した事業所独自の理念をユニットごとに掲げている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの理念は目のつくところに掲示し、管理者および職員で共有しており、日常のケアで活かしていることがうかがえた。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所の花見、夏祭りなどの様々な行事を通して交流をしている。また、参加関係者への働きかけは、運営推進会議などの場で行っており、地域活動などへの参加や交流の呼びかけをしている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者および職員は評価の意義を理解し、自己評価は、共に話し合っ取り組んでいる。また、改善項目は解決できることから取り組んでいる。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの説明や状況の報告がされている。会議での意見がホームのサービス向上への活動や地域の支援を得るための機会としている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者は、運営推進会議の参加をするなどホームにおける運営上の相談に対応できる関係が保たれている。また、福祉委員の訪問を定期的に受入れる活動をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、「お手紙」でご家族に入居者の暮らしぶりや健康状態を報告している。ご家族の面会時には、入居者の暮らしぶりや健康状態を伝えたり、緊急時には電話連絡を行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族からのご意見・ご要望を聞く「苦情箱」などの設置などの体制を確保すると共に、日頃からご家族のご意見やご要望が言いやすい雰囲気づくりに努めている。しかし、家族会は1回のみ開催になっているなど交流の機会が不十分である。	○	家族会などを定期的に開催し、家族などが気軽に交流できる機会を設ける取り組みを希望する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係が継続できるように、運営者とも十分な話し合いをもち、環境が大きく変化しないように配慮している。しかし、入居者への影響を最小限にするための具体的な方法の確立には至っていない状態である。	○	スタッフの異動が必要な場合は必要最小限に抑える配慮の継続を行うと共に、異動する場合は、早めに職員を配置し、引継ぎの期間を確保することを期待したい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期開催の職員会議において内部研修を行うと共に、外部研修への参加の働きかけをしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在は、特定の事業者と交流する機会や情報交換をしているが、地域のネットワークづくりや勉強会を通じたサービス向上の活動には至っていない。	○	今後は、地域の同業者との交流や連携を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には見学をしていただいている。また、入居者の状態の把握と馴染みの関係づくりに取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員からの一方的なケアではなく、入居者の方に教えてもらうなど、共に助け合う生活をしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族から生活暦などを聞いたり、日々の会話や表情、しぐさなどから本人の思いや意向を把握するよう努めている。また、職員間で入居者の希望に沿えるための話し合いを行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者の生活への意向を聞き、職員との話し合いを行い、入居者の考えや思いが反映された個別の介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しおよび入居者状態の変化に伴った見直しをしている。ご家族や職員、関係者との十分な話し合いによる取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者・ご家族の要望や状況に応じ、急な外出などの支援は臨機応変に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医療機関以外にも、かかりつけ医の医療を受けられるよう支援している。また、定期的に協力歯科医の往診を実施している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期のあり方について、職員会議にて話し合いを行っているが、入居者・ご家族の意向に沿えるための話し合いには至っていない。	○	入居時にご家族の方に対して方針を説明すると共に、希望を聞く取り組みを行い、職員間での共有および関係者全体の統一を期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員から入居者の誇りを傷つけたり、プライバシーを損なうような言葉かけや対応はみられない。入居者の氏名や写真の掲示についてもご家族に同意を得ている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の入居者の心身状態の把握を行い、入居者一人ひとりの生活ペースを大切に支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に食事を取るなど楽しんで食事をしている。また、入居者個々の力量に応じ食事の準備や後片付けのお手伝いをさせていただき取り組みをしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者一人ひとりの希望や心身の状態に応じた、普通浴および機械浴を支援をしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴などから得意な事を把握し、趣味や希望に応じた取り組みをしている。また、食事の準備、洗濯物のたたみなど、日常的な役割もその人の経験を活かした支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望により可能な限り外出できるように支援をしているが、自由に行動できるように業務内容を検討している。	○	天候や季節に応じて、散歩や近所の商店へに利用者の買い物に行くなど、入居者の希望に沿った支援を期待したい。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各居室や各ユニットの入り口には鍵はしていない。不穏症状がある入居者には安心できる対応をしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力により、年2回の避難訓練を実施している。また、運営推進会議にて自治会長と災害時協力を働きかけている。しかし、災害に備え、水や非常食の準備は出来ていない。	○	消防署や入居者および地域の方を交えての避難訓練の実施や夜間の火災を想定した防火訓練の実施を期待したい。また、災害に備え、水や非常食の準備も希望したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者個々の食事摂取量を把握し、毎食記録している。また、水分摂取についても利用者に合った支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間にはソファや椅子など、入居者それぞれの居場所の配慮をしている。また、自然の光や季節感を取り入れた花および装飾もあり、居心地良く生活できる工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者により、居室にテーブル、椅子、装飾品などの備品を準備している。また、使い慣れた物を持ち込み、その人らしい生活ができるように配慮している。		